



ハニカムトレンチ

使用にあたってのご注意



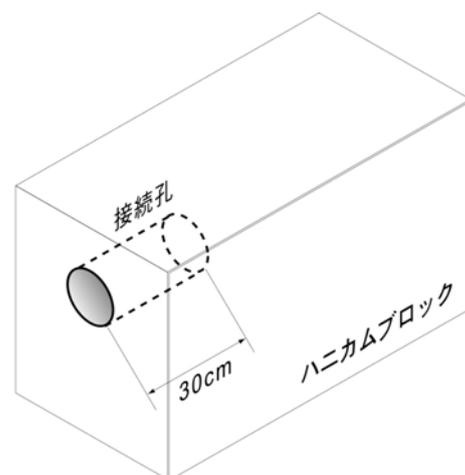
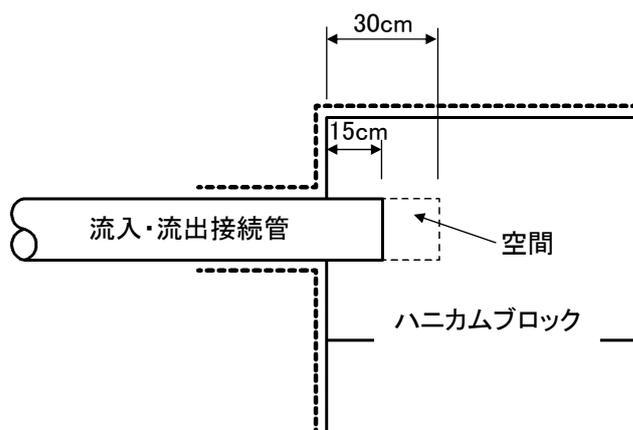
平成 29 年 12 月

—目次—

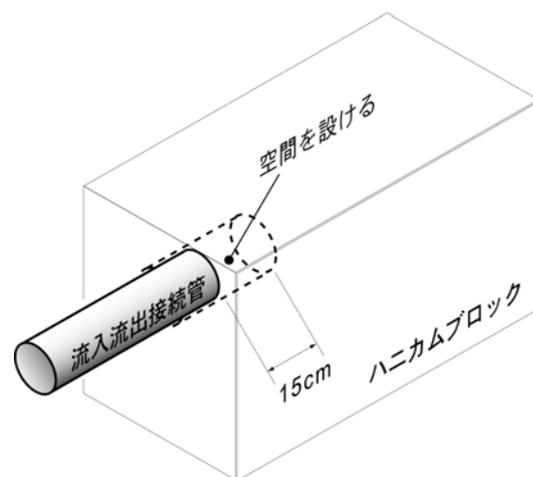
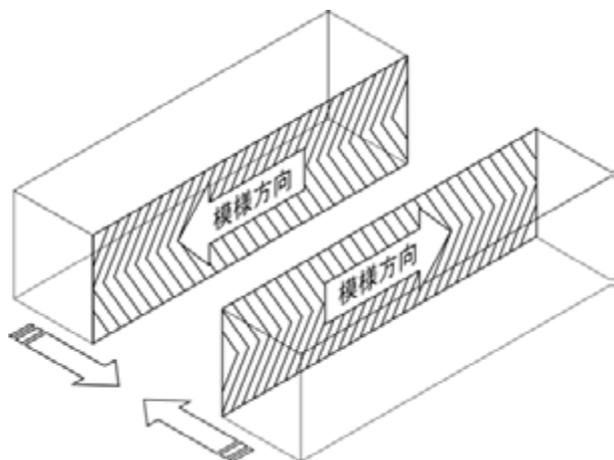
1. 施工上の留意点	1
2. 施工	2
(1) 掘削工	2
(2) 流入・流出施設設置	2
(3) 敷砂工	2
(4) 透水シート巻き付け	2
(5) ハニカムブロック据付	2
(6) 埋め戻し	2
3. 使用範囲	3
4. 施工歩掛り	3
5. 維持管理	3
6. ハニカムトレンチ標準構造図	4
7. ハニカムトレンチ施工風景	5

## 1. 施工上の留意点

- ◇ ハニカムブロックは可燃物です。保管時や施工時は火気厳禁とします。
- ◇ 保管は平坦な場所で行い、強風・直射日光を避けるためシートで覆ってください。
- ◇ 鉱物油や有機溶剤等は、流入させないでください。
- ◇ 雨天時の施工は掘削底面を乱し、浸透施設の場合、施設の能力に影響しますので、雨天時の施工は避けるよう施工計画を立ててください。
- ◇ 掘削底面には必ず敷砂を施し、平坦に仕上げてください。水場・軟弱地盤においては、基礎コンクリート等の底面補強をお願いします。
- ◇ 埋め戻しは、シート(透水・遮水)をズラさないように注意しましょう。
- ◇ ハニカムブロックと流入・流出管の接続  
ハニカムブロックには管接続位置に深さ約 30cm の接続孔を工場加工いたします。  
ハニカムブロック内に雨水を素早く流入させる為、管の接続は接続孔に 15cm 程度、管を差し込み、接続孔の突き当たりと管先端の間に空間を残す様にしてください。  
また現場で加工する場合も上記の接続が出来るように30cm程度、削孔してください。  
※工場加工の場合は有償にて、納期は約1週間となります。



- ◇ 長さ方向の面を合わせる時は模様の向きが反対になる様に合わせてください。



※工場加工する接続孔の位置は、接続面の中心が基本になります。

## 2. 施工

### (1) 掘削工

掘削は、バックホー又は手掘りにより行いますが、底面及び側面は人力で丁寧に施工してください。降雨時の掘削は掘削底面を乱し、施設の浸透能力に悪影響を及ぼしますので、見合わせるようにしてください。

作業時は、掘削機械の作業範囲内に入らないよう注意しましょう。

### (2) 流入・流出施設設置

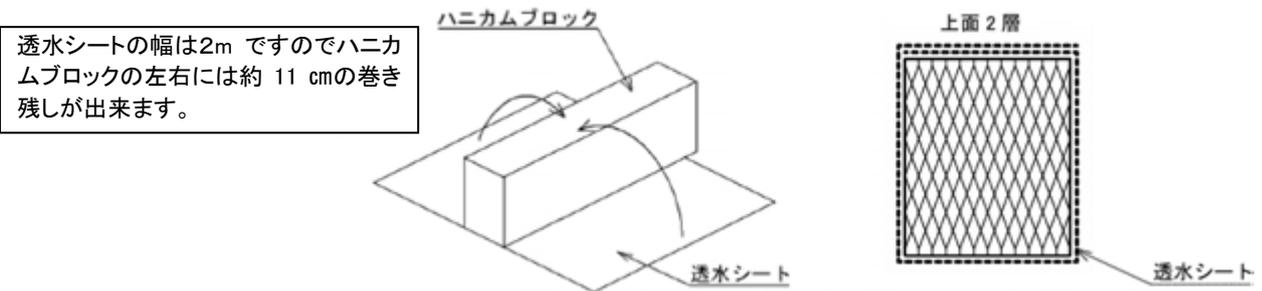
流入・流出施設には、雨水ます又は雨水浸透ますが多く使用されます。設置方法は、通常の土木工法によりますが、流入管口には必ずゴミ除去フィルターを付けてください。

### (3) 敷砂工

掘削終了後、直ちに所定の厚さ(通常5cm)に砂を敷き込み、平坦な面に仕上げます。

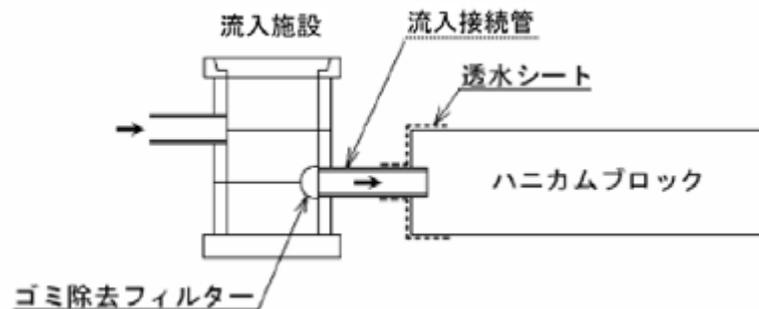
### (4) 透水シート(不織布)巻き付け

図の要領で、ハニカムブロックに透水シート(不織布)を巻き付けます。

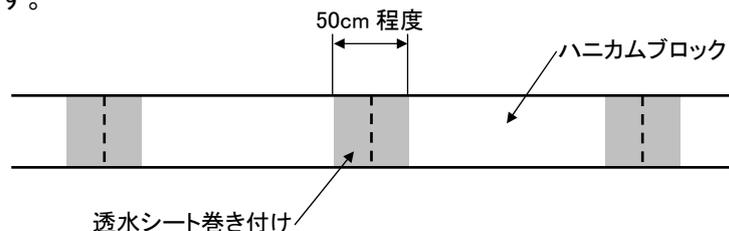


### (5) ハニカムブロック据付

流入・流出施設とハニカムブロックは管で接続します。ハニカムブロック端面及び管接続部の透水シート(不織布)は、土砂の浸入の無いよう入念に仕上げてください。



ハニカムブロック同士の接続は突合せになりますが、接続部は(4)の要領で幅50cm程度の透水シート(不織布)で巻き付けます。



### (6) 埋め戻し

埋め戻しは、シートがズレないように行うことが肝要です。また、側面の透水性に影響を与えないようにする必要があります。側面の埋め戻しには良質な材料を用いるとともに、十分な締固めを行ってください。

### 3. 使用範囲

対応自動車荷重	T-2	T-4	T-8	T-14	
許容土被り	0.15m～2.3m	0.2m～2.2m	0.3m～2.0m	0.5m～1.8m	
最大埋設深さ	2.9m	2.8m	2.6m	2.4m	
使用 範囲	1段積の場合	土被り0.15m～2.3m	土被り0.2m～2.2m	土被り0.3m～2.0m	土被り0.5m～1.8m
	2段積の場合	土被り0.15m～1.7m	土被り0.2m～1.6m	土被り0.3m～1.4m	土被り0.5m～1.2m
	3段積の場合	土被り0.15m～1.1m	土被り0.2m～1.0m	土被り0.3m～0.8m	土被り0.5m～0.6m
	4段積の場合	土被り0.15m～0.5m	土被り0.2m～0.4m	—	—

### 4. 施工歩掛り

構成人員

世話役	普通作業員
1人	4人

施工歩掛り

世話役(人)	普通作業員(人)	備考
0.74	2.96	100m <sup>3</sup> 当たり

※30m程度の小運搬を含む。

※土工・仮設工・附帯工・シート工は別途計上とする。

### 5. 維持管理

ハニカムトレンチに於いては、ハニカムブロック内のメンテナンスは困難であり、集められた雨水に含まれる土砂・ゴミ・落ち葉等は、流入施設において除去することが条件となる。

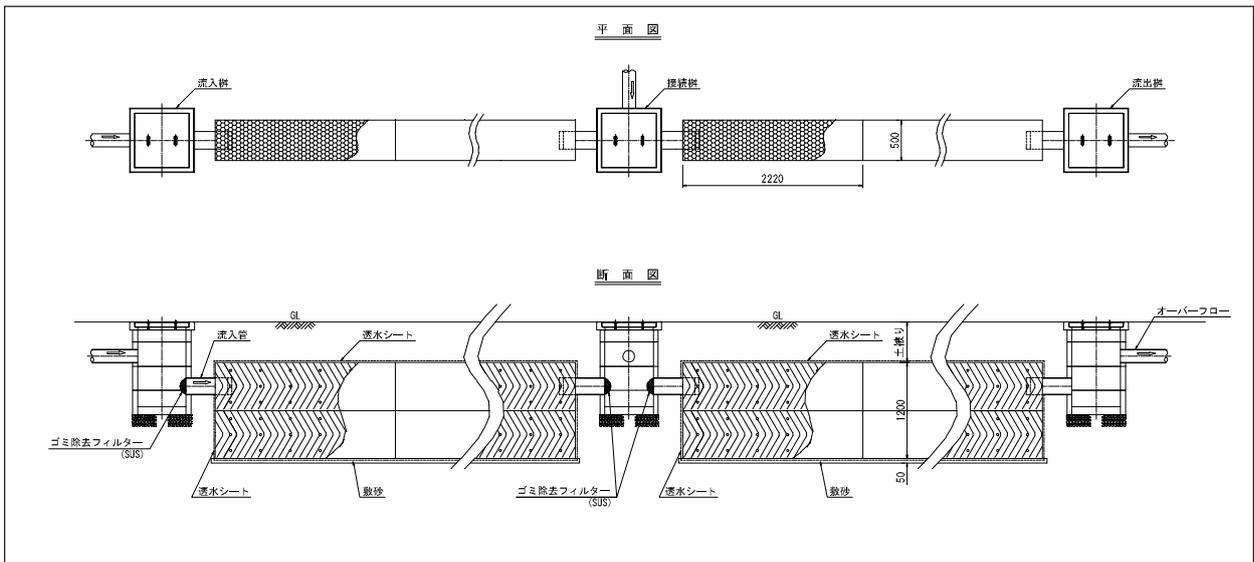
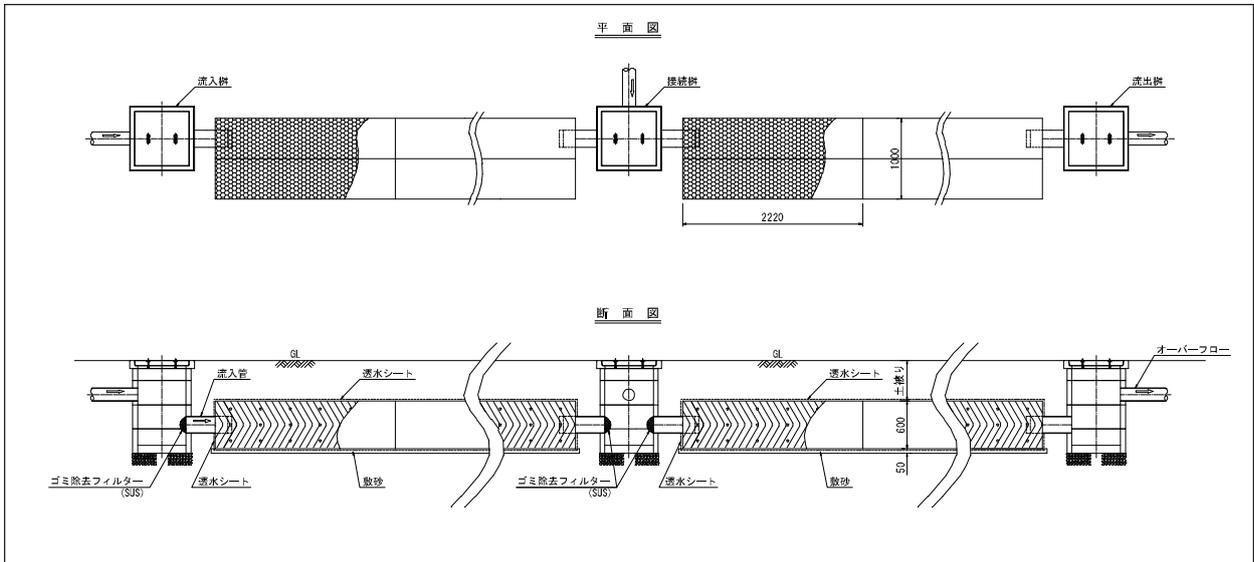
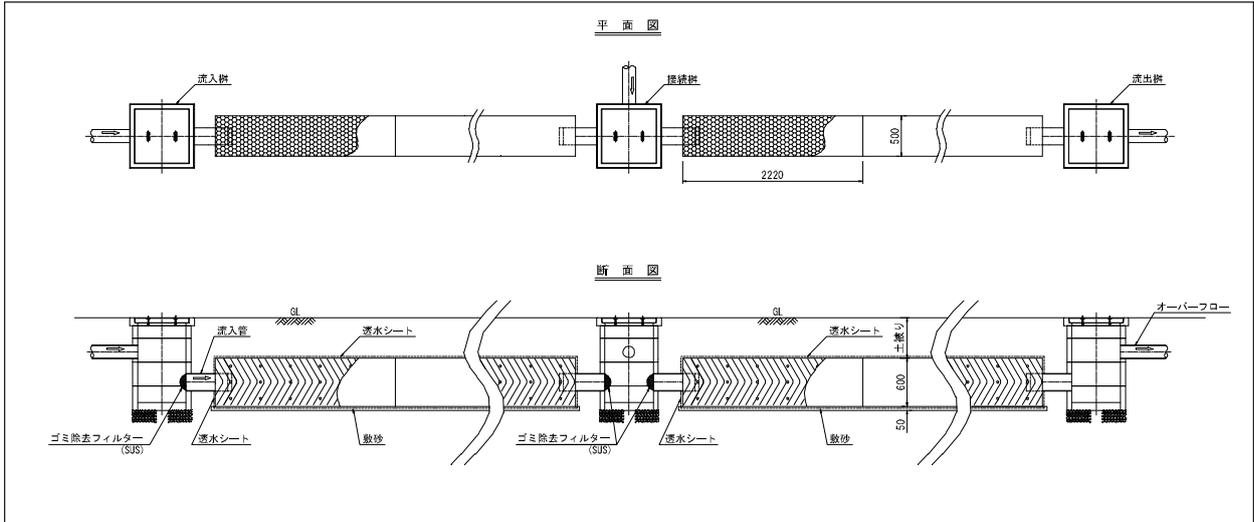
さらに、表に示す項目により、適切な維持管理を行うことで、長期にわたる施設の機能確保が可能となる。

施設名	点検内容	頻度	処置
流入施設	集水管 側溝	年1回以上	年1回 又は5cm以上の堆積は除去
	流入槽 流入ます		年1回 又は5cm以上の堆積は除去
	ゴミ除去フィルター		異常な場合修理又は交換
	流入管		年1回 又は5cm以上の堆積は除去

※大型施設の場合、降雨中の点検・ゴミ除去は危険です。降雨前に点検をしてください。

※上記内容はあくまでも目安とし、運用後の状況により改定してください。

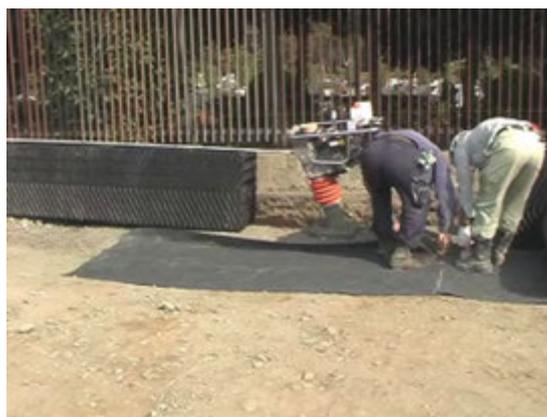
## 6. ハニカムレンチ標準構造図



## 7. ハニカムトレッチ施工風景



① 掘削



② 透水シート切断



③ 透水シート巻き付け



④ ハニカムブロック据付



⑤ 接続部シート巻き付け



⑥ 据付完了